



ホーチミン国家政治学院でのセミナーおよびダイアローグの実施
～ベトナムの発展段階に応じた日越経済関係とその展望～

2023年9月18日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

9月18日、日越外交関係樹立50周年の機を捉え、JICAは、トラン・バン・トー早稲田大学名誉教授、池部亮（いけべ・りょう）専修大学教授を日本から招き、ホーチミン国家政治学院（ホーチミンアカデミー）1の協力の下、ベトナムの発展段階に応じた日越経済関係と今後の展望についてセミナーおよび意見交換会を開催しました。午前の部はホーチミンアカデミーの研修プログラムの一つである「上級政治理論研修（通称 Lop A）」2の一コマとして公務員の若手管理職および管理職候補の党員約800名が、午後の部はホーチミンアカデミーの教員約80名が参加しました。

トラン・バン・トー教授は、ベトナム戦争終結から今日までの約50年のベトナムの発展段階に応じた日越の経済関係を俯瞰するとともに、日本から同様にリソースが投入された他のアジアの国々と比較し、ベトナムはリソースを十分に活用できていない、今後ベトナムがさらに発展するには、FDIやODAなどの外的リソースを有効に活用し、国内リソースを強化することであると述べました。

池部亮教授は、ベトナムの経済成長の経緯と工業化の進展について、主にFDIによる経済波及効果の観点から考察し、中所得国の罫を回避するためにも、労働生産性の向上がベトナムにとって重要な意味を持つこと、またさらなる工業化のために、裾野産業の育成への政策支援、FDIの高付加価値化を促す政策も必要だとしました。

JICAは、2020年に日本の近代化と開発途上国への開発協力から得た経験と教訓を学ぶ機会を海外にも広げることを目的とし、途上国のトップクラスの大学などを対象にした「JICAチェア」を立ち上げ、ベトナムにおいては2021年から事業を開始しています。本イベントはJICAチェアの枠組みで実施されました。

JICAベトナム事務所菅野所長は、午後の部の冒頭のあいさつで、JICAチェアを通じた今般のセミナーおよび意見交換会の機会提供への感謝とともに、ベトナムの持続的な発展を目指すとして述べました。

お問い合わせ: JICAベトナム事務所 広報班 関里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp

¹ 党中央執行委員会に直属し、政治局・書記局の指導のもと幹部・公務員研修を一元的に担う党機関。

² JICAは、「上級政治理論研修（通称 Lop A）」に設けられた「Japan Class」の一コマで、毎年日本人専門家、企業関係者、政府関係者などによる講義を2015年から実施（2016年にホーチミンアカデミーとの間でMOUを締結）。